

2019年8月23日

日本船主協会 海事人材部

次世代を担う学生に商船学科を紹介

～2019年度国立高等専門学校(商船学科)5校合同進学ガイダンス～

日本船主協会では、2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人海技者確保のための広報活動をしております。その一環として、海技者というキャリアパスを若い世代に広く意識してもらうべく、国立高等専門学校(商船学科)5校合同進学ガイダンスを、神戸(6月22日/三宮コンベンションセンター)、横浜(8月4日/ナビオス横浜)の2会場において開催しました。

本取り組みは、商船学科のある国立高等専門学校(以下商船系高専)5校(富山高専、鳥羽商船高専、広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専)と連携して実施しており、今回で12回目の開催となりました。

各会場では、当協会より、日本の海運の概要と海技者の重要性を紹介したほか、横浜会場では当協会の中島孝副会長が挨拶を行い、参加中学生が将来の選択肢の一つとして海技者を目指すことに大きな期待を寄せました。

商船系高専の教員方からは、学校生活の様子やカリキュラム、学習内容、卒業後の進路等の説明が行われました。

続いて、卒業後の進路として商船系高専の卒業生が多く活躍する、長距離フェリー業界の説明や、当協会会員会社の若手航海士・機関士が、商船系高専へ進学した動機や、学生生活、就職後の仕事の内容や休暇の過ごし方等を写真と共に紹介しました。

講演後には、各校ごとにブースを設け、各校の先生、学生、卒業生と参加者が熱心に情報交換を行いました。

人材確保タスクフォースでは、今後も商船系高専をはじめとした海事系教育機関や海運業界の認知度向上および海事人材の確保の一助となるよう、関連機関と協力して幅広い活動を継続して行くこととしています。

各会場参加者(計189名)内訳

神戸会場:119名(中学生44名 保護者62名 その他13名)

横浜会場:70名(中学生27名 保護者40名 その他3名)

商船系高専 全体説明を担当していただいた先生方

神戸会場:国立大島商船高等専門学校 千葉元 教授

横浜会場:国立鳥羽商船高等専門学校 窪田祥朗 教授

現役航海士・機関士(高専卒業生)の皆様(順不同)

神戸会場:

NS ユナイテッド海運(株) 川北峻平 二等航海士

日本郵船(株) 沢田耀一郎 二等機関士

(株)フェリーさんふらわあ 濱口大祐 二等航海士

横浜会場:

川崎汽船(株) 置田昂文 二等機関士

(株)商船三井 川瀬悠 一等航海士

商船三井フェリー(株) 門口尋観 二等航海士



6/30 神戸会場全体の様子



講演をする濱口大祐 二等航海士(神戸)



講演をする川北峻平 二等航海士(神戸)



講演をする沢田耀一郎 二等機関士(神戸)



挨拶をする中島孝 副会長(横浜)



講演をする門口尋観 二等航海士(横浜)



講演をする川瀬悠 一等航海士(横浜)



講演をする置田昂文 二等機関士(横浜)